

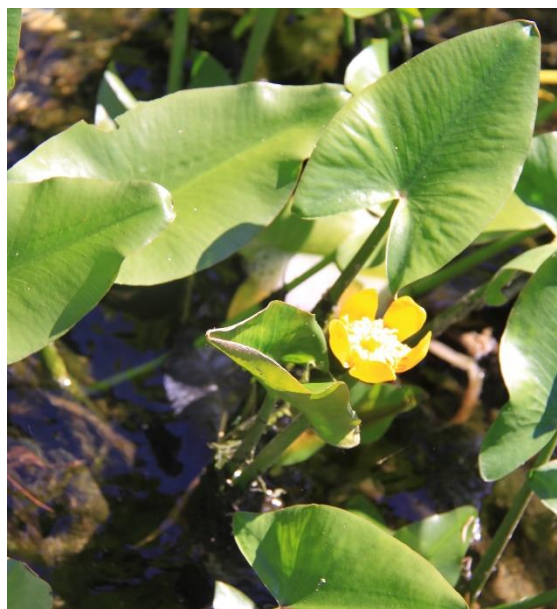
【草花の部屋】

コウホネ（スイレン科コウホネ属 *Nuphar japonicum*）

和名：コウホネ(河骨) **別名**：タイコノブチ(太鼓掬) **英名**：Spatterdock

スイレン目 多生草本 **原産地**：日本

花言葉：崇高、秘められた愛情、その恋は危険 **花の色**：黄



← 写真-1 コウホネ

撮影日：2017年08月09日

撮影場所：名古屋市白鳥庭園にて

撮影者：M さん

↓ 写真-2 ウホネの花

撮影日：2017年08月09日

撮影場所：名古屋市白鳥庭園にて

撮影者：M さん



名古屋市白鳥庭園を訪れた際、池泉の中に見かけました。残念ながら、一輪のみ・・・。

黄色い厚手の花を咲かせる水生植物。スイレンの仲間で、円形の葉にはスイレン同様に切り込みが入っています。水深の浅い沼や池に生育。根茎は水中にあり、白くゴツゴツしていて骨のように見えることから、「河骨(カワホネ)」と呼ばれていたものが次第に「コウホネ」になったそうです。

五枚の花弁のように見える部分は、萼片。雄蕊に覆い隠されるように、萼片の内面付け根付近にある濃いオレンジ色の部分が花弁です。

茎を縦割りにしたものは川骨(センコツ)と言い日本薬局方に収録された生薬。調栄湯(ちょうえいとう)、治打撲一方(ちだぼくいっぽう)という解熱、鎮痛を目的とした漢方方剤に配合されるそうです。含有される成分としては、例えばヌファリジンなどが知られているそうです。

アイヌ民族ではカパトとよび、地下茎をアク抜き・乾燥したものを保存食と

し、水で戻して汁の実として利用したそうです。

コウホネの変種で、赤い花の紅コウホネや姫コウホネなどもあるそうです。